

大伴家持彰徳祭

夏祭 除蝗祭 鵜坂寺別当慰霊祭

六月十六日十時より、夏祭除蝗祭・大伴家持彰徳祭・鵜坂寺別当慰霊祭が行われました。小学5年生による浦安の舞が奉納されました。

浦安の舞を

してみたい

神舞姫

四人の想い

渡木 柚菜

私は、浦安の舞をして思ったこと、感じたことが二つあります。

一つ目は、練習の時や、神社で舞っている時思ったことです。初めて浦安の舞を練習した時、最初は覚えるのがとても難しいと思いました。

本番までに、扇舞が全部出来るとは思っていませんでした。しかし、浦安の舞を教えてくれる先生は、分からないところを細かく丁寧に教えてくださったので、本番は失敗せず、上手に舞うことが出来ました。私は、自信を持って舞うことが出来て、とても嬉



神舞姫

しく思いました。

二つ目は、地元の鵜坂神社で、浦安の舞をできることをとても誇りに思っている事です。私の姉や母も、五、六年生の時、浦安の舞をしていたそうで、母からは、浦安の舞の話をよく聞いていていました。そして姉が、神社で舞っ



奉納 浦安の舞

ている姿を見て、とてもすてきだなと思っていました。

私は、一人の話や姿を見て、浦安の舞をやってみたいなと思っていて、浦安の舞をやりました。普段から、神社や寺などに参りに行く事が好きで、神様の前で舞が出来るなんてすごくうれしい事だと思いました。浦安の舞は、めったに出来る事ではないので、私は良い体験が出来たと思いました。私は将来、神社の巫女になりたいと思っていますので、この経験を生かしてがんばりたいと思います。

野村 さくら

私は浦安の舞をして、びっくりしました。

わけは、私が思っていたより難しかったからです。ずっと手を上げているとつかれるし、タイミングを間違えると他の3人の足を引っ張ってしまうからです。

鵜飼祭りで踊った時は、私の知り合いや親やおばあちゃんが出て、きんちようしました。曲が流れた時に、目をキョロキョロしないために前だけを見て踊りました。緊張で思い出せないところもあったけれど、いっぱい練習したから、体が勝手に動い

て踊ることが出来ました。

最初はガチガチになっていたけれど、最後は安心して笑顔になりました。

伝統的な舞を上手にすることが出来て自信がついたので、これからも浦安の舞をがんばろうと思いました。



初めて舞を奉納する神舞姫

五十嵐 寛菜

私は浦安の舞の練習をする時に、どんな曲にあわせてどう舞うのが楽しかったです。

初めて練習をした時はおうちの持ち方をまちがえてしまったりしたので難しかったです。初めてした鵜坂神社の時はおうぎだけだったけど、鵜飼祭りの時はけんもして、おうぎよりも難しくて、家の中でも練習をしました。私は本番の日とてもきんち

ようしました。舞いをするとき、間違えてしまうんじゃないかと思っただけで、ちゃんとできたのでよかったです。これからも練習をがんばって、まちがえないように浦安の舞をがんばっていきたいと思います。

坂井 さくら

私は、浦安の舞をする前はむずかしそうと思っていましたが、実際に教えてもらっておどつてみるとそんな事ありませんでした。でも、音楽がいつも聴いているような歌ではなくてそれに合わせるのが難しかったです。

最初に「おうぎ」を教えてもらいました。やつと覚えたと思ったら次は「つるぎ」をやることになり、まだまだ覚えなれないといけないんだな思いました。両方踊れるようになって良かったです。

去年の冬頃に初めて鵜坂神社で舞をしてきんちようしました。けれどもまちがえずにできました。今年も鵜飼祭りの舞、鵜坂神社での春祭りと夏祭りの2回の舞をしました。いつもきんちようしていたけども、ちゃんとできたので良かったと思います。これからも頑張りたいです。